

日刊建設工業新聞

購読とあわせてWebサイトをご利用ください。

オープンサイト

<http://www.decn.co.jp/>

会員制サイト

<http://www.kensetsu-it.com/>

お問い合わせ先

購読に関すること

TEL 03-3433-7152 FAX 03-3431-6301

広告に関すること

TEL 03-3433-7154 FAX 03-3431-6301

記事に関すること

TEL 03-3433-7161 FAX 03-3433-1042

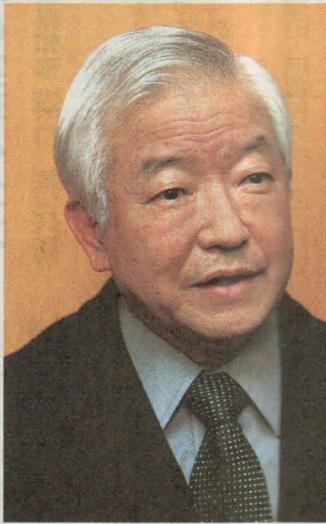
情報お寄せください: mail-ed@decn.co.jp

日刊建設工

ジャイアール東日本
杉林

木下 誠也

愛媛大学教授



設計がプロジェクトの成否の鍵を握ることから、「安価」ではなく「質の高い」設計を求めるのが、世界共通の認識である。安価に設計しようとする、経験の乏しい技術者を当てたり、比較検討の数を減らしたり、詳細図の作成を省いたり、ライフサイクルコストを低減するのではなく、安易な設計をしようとしたり、重い部材を使う構造設計をしたり、チェックを省いたりといったことにつながり

やすい。このため、建設コンサルタントの選定は価格競争ではなく技術競争(QBS)によるのが世界の常識である。ドイツでは選定

なり、設計等をインハウスで賄いきれなくなつて、1939年、公工事法により競争入札によらない設計

ず、選定後に業務内容を明確にしたうえで交渉によって決める。交渉が成立しない場合は次順位の者へと移行する。この法律の適用対象は、その後測量や地図製作などへと次々に拡大した。

ブルックス法は連邦政府機関の発注に適用されるものであるが、あらゆる公共事業関係者からなるAPW

契約を行う(次順位の者は相手であるとの前提で随意に移行することは許されない)。

また、わが国ではプロボ

ーザル方式によるべきところを競争入札や総合評価方式により価格競争を強いている例がいまだに多数ある。一部の地方公共団体においては、価格競争の結果、下限価格に複数の建設コンサルタントの入札価格がはりついてくじ引きによって落札者を決める事態が生じている。

安値を求めた結果として落札価格が決まる。後世につけを残していることを気づかないものであろうか。技術で世界に伍していかなければならぬわが国が、制度によって技術を

によって生活と建築にかかる方をあらためて考えさせられた。
鉄道は生活を支える

ところによる。安全で安定した輸送サービスに重点投資するのではなく、建築関連は2、3年、影響を受けるだろう」

将来

——当面の課題は。

技術を貶めていないか? わが国の調達制度

にあたって価格を考慮する例があるが、その場合でもウエートはせいぜい5%までである。

アメリカでは、第二次世界大戦を迎えた軍事施設の整備を始めた。1947年にはいわゆるブルック

A(米国公共事業協会)などが支持しているだけではなく、ABA(米国弁護士協会)は、QBSを推薦して

州政府および地方公共団体のための法案モデルを示している。今やQBSは全米の44の州で州政府予算による事業に対応して適用されている。

ト選定段階では一切考慮せた。価格は建設コンサルタント

等の外注を始めた。1947年にはいわゆるブルック

t)を制定し、発注者が公

告のうえ技術的に最も優れた建設コンサルタントを選定し、交渉の上契約するといふQBS方式を法定化した。

価格は建設コンサルタント

によって生活と建築にかかる方をあらためて考えさせられた。

鉄道は生活を支える

所

論

諸

論